



なごみ

第182号

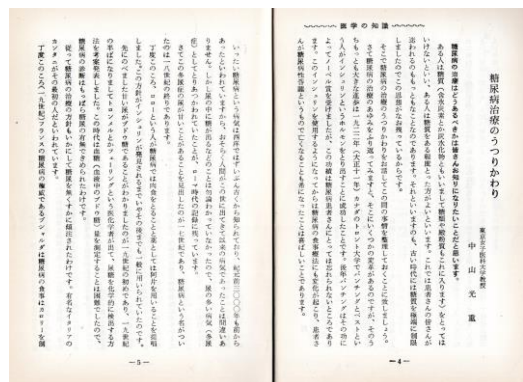
令和元年6月1日 発行

日	月	火	水	木	金	土
						6/1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	7/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

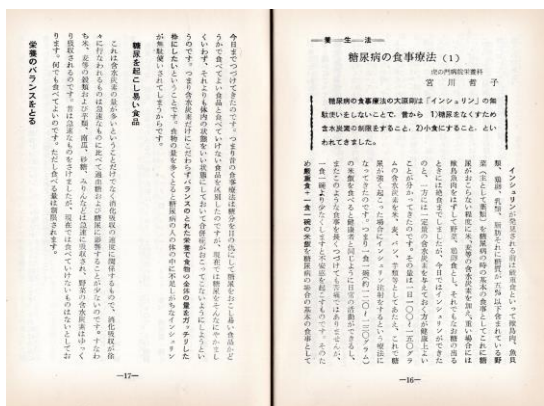
「さかえ」創刊号・ご覧になりましたか？

「さかえ」5月号に同封してありました、「さかえ」創刊号はご覧になりましたか？日本糖尿病協会誌「さかえ」は、1961（昭和36）年10月に創刊されました。その「さかえ」も、6月号で創刊500号を数え、会員数も創立時の3,295人から大きく成長し、現在では10万人を超えるまでになりました。そんな日本糖尿病協会誌「さかえ」の創刊号をピックアップしました。

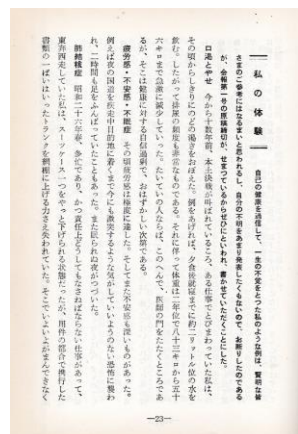
編者が一番興味をひかれたのは、4ページの「糖尿病治療のうつりかわり」です。インスリンの発見などの世界的な話題については「さかえ」などでも記事を見かけますが、当時の日本での治療方法や、使われていたお薬などが詳しく書かれていて、「へえー！」と思う事請け合いです（もちろん、編者のような青二才は知るはずありません）。



次に気になったのは、「養生法」のシリーズとして書かれた（であろう）「糖尿病の食事療法」です。現在とほぼ変わらないところもあれば、今では目にしない言葉が書いてあったりと、「温故知新」を感じさせてくれる内容です。この文章を、医療従事者ではない当時の一般の方が読まれていたとは...驚きです。



最後に23ページの「私の体験」です。どんなに医学が進歩しようと、治療法が変わろうと、患者さんが発症する時に体験する症状は同じであることが分かります。ただ、糖尿病を持つようになって前向きに生きておられる姿が文章から感じられ、読む側も前向きな気持ちになりました。



「さかえを読む会」～骨粗しょう症

4/27 開催の「さかえを読む会」では、「骨粗しょう症」を取り上げました。骨粗しょう症は女性に多いと言われていますが、「男性には起こらない」というわけではありません。「骨」の造りについては、以前も「さかえ」に掲載されていたように、「骨質（骨の中身の成分）」と「骨量（骨の密度）」が重要で、骨の中のコラーゲンの劣化に高血糖が関わっていると言われ、それが「糖尿病患者さんでは骨粗しょう症になりやすい」と言われている一因です。

最近では、健康診断や街中で行われている健康フェアなどで、骨密度測定を実施していることがあります。あくまで「目安」の検査ではありますが、今まで一度も検査したことのない方は、機会があればぜひ検査を受けてみてください。



これからの行事予定

7月「さかえを読む会」

7月27日（土）14：00～15：30

内容：「さかえ」6月号特集記事（予定）

場所：当院2階・患者会室



10月なごみ会参加行事

10月6日（日）

内容：歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー

場所：千葉県立青葉の森公園

詳細が決まりましたら、
院内に掲示いたします！

***6月・8月の「さかえを読む会」はお休みです。**

よもやま豆知識

6月の行事 ～「父の日」～

1909年にアメリカ・ワシントン州のソノラ・スマート・ドッド（女性）が、男手1つで自分を育ててくれた父を讃えて、教会の牧師にお願いして父の誕生月である6月に礼拝をしてもらったことがきっかけとされています。当時すでに母の日があったため、彼女は父の日もあるべきだと考え、「母のように父に感謝する日を」と牧師協会へ嘆願して始めました。母の日の花がカーネーションなのに対し、父の日の花はバラ。ソノラ・スマート・ドッドが、父の日に父親の墓前に白いバラを供えたからとされています。



《編集後記》

「ちょうど良い」気候がないまま梅雨に突入しそうな毎日です。湿気と暑さに極度に弱い私は、これからの季節は活動量が極端に減ってくる時期となります。もちろん運動量も減りますから、そういう場合には部屋の中でローラー台に固定した自転車を30分程こいで、運動としています。でも、景色の変わらない自転車はあまり楽しくないですね。

編集責任者：手塚裕子（臨床検査技師）

参考資料：Wikipedia